

**令和5年度 全国学力・学習状況調査  
教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立白河第一小学校長

令和5年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教科指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語科、算数科の2教科を実施いたしました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願い致します。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

**【本校と全国の平均正答率比較】**

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	67.2%			○		
算数	62.5%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	71.2%	○				
情報の扱い方に関する事項	63.4%			○		
話すこと・聞くこと	72.6%					○
書くこと	26.7%	○				
読むこと	71.2%					○

【考察】

- 学習指導要領の領域別では、「書くこと」の領域において、図やグラフなどを用いながら、自分の考えを書き表すことに課題が見られました。本校で取り組んでいる「400字作文」を活用して、条件をきちんと捉えて書く等の作文指導に力を入れていきます。また、文章や資料を読み取る際に、情報を整理することを大切にしながら、自分の考えをまとめる場面を数多く設定していきます。
- 問題別では、情報と情報との関係付けの仕方、語句と語句との関係の表し方についての理解に課題が見られました。今後の授業において、説明文や資料の読み取りの学習を中心に、資料と文章の関係等を考える場面を多く設定するなどして、授業の改善に努めていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	67.3%	○				
図形	48.2%					○
変化と関係	70.9%					○
データの活用	65.5%			○		

【考察】

- 学習指導要領の領域別では、「数と計算」の領域において、基礎的・基本的な計算に関して課題が見られました。計算の仕方について子どもたちに説明させる活動を取り入れる場面を設定したり、本校で行っている「白一タイム」の時間を活用したりしながら、計算力が確実に身に付くように指導していきます。
- 問題別では、図形領域における概念や直線の位置関係について理解し考察すること、また、データ領域における算数用語（「以上」「以下」「未満」「割合」など）に対する理解に課題が見られました。どうしてそのような公式になるのかを考えたり、算数用語の意味について振り返ったりする時間を意図的に設け、理解を深めることができる場面を数多く設定していきます。